

Hi-Fi真空管 iPodステレオシステム

品番 MA-601



iPodは含まれません

このたびは、Hi-Fi真空管iPodステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この簡易取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

目	次
商品概要	1
付属品を確認ください	1
免責について	1
取り扱い上のお願ひ	2
本機の説明について	3~4
iPodで音楽を聴く	5
FMラジオを聴く	6
外部入力(AUX)から音楽を聴く	6
イコライザーを使用する	6
アラームを使用する	7
スリープを使用する	7
本機をスタンバイ状態にする	7
接続されたiPodについて	7
故障かな？！	7
製品仕様	8

商 品 概 要

本機は、iPodを代表とするMP3プレイヤーやその他のオーディオ機器に使用できる真空管のオーディオアンプです。主な特徴は次の通りです。

アンプ回路に真空管を採用

デジタルでは味わえない、温かみがある迫力のサウンドを堪能できます。

※真空管の特性上、デジタルアンプのような低ノイズでクリアな音質ではありません。

iPodが直接接続できる専用ドックを搭載

一部を除くiPodを本体から再生、操作が可能。専用ドックでデザイン性も損ないません。

※iPod mini、iPod shuffle、一部の旧世代iPodは専用ドックが利用できませんが、外部入力端子(AUX)から再生が可能です。

リモートコントロール(リモコン)を搭載

離れた場所から本体の操作はもちろん、iPodの操作も可能になります。

6パターンのイコライザーを搭載

音楽シーンに合わせて6パターンのイコライザーをお楽しみ頂けます。

FMラジオ機能を搭載

FMラジオ放送(76-90MHz)が視聴できます。

アラーム(目覚まし)やスリープ機能を搭載

アラーム(目覚まし)やスリープ機能の便利な機能を利用できます。

付属品を確認ください

本機を使用する前に、以下の付属品が揃っているか確認してください。

万一、不足している物がありましたらお手数ですが、お買い上げの販売店にご連絡ください。

・取扱説明書(英語)		1冊
・簡易取扱説明書+保証書(日本語)		1冊
・リモコン		1個(電池含む)
・音声ケーブル		1本

免責について

本機は、再生機能を有したプレイヤーの音楽を視聴するものであり、単独では音楽を視聴できません。音に歪やノイズを感じる事があります、真空管ならではの性能(特徴)であるため故障ではありません。いかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ・本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
- ・お客様の故意、誤使用、不注意による障害または本機の損傷など。
- ・お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかに関わらず発生した一切の故障または不具合
- ・本機と接続された機器のご使用中による不慮の故障、経年劣化、不適切な操作による被る不便、故障、損害

取り扱い上のお願ひ

屋内でのみ使用してください。

長時間日光のあたるところや、冷暖房機の近くには設置しないでください。

変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

正しい接続で使用ください。

外部入力する信号は本機に適切な条件で行ってください。

誤った信号を接続をすると本機の破損や不安全な現象が発生する可能性があります。

安定した性能でお使いいただくために

周囲温度+10℃～+40℃、湿度80%以下の場所でお使いください。

取り扱いは丁寧に

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

本機の故障の原因になります。

iPod専用ドックの使用について

接続部は非常にデリケートです。

本機だけでなくiPod本体側の故障の原因になりますので下記の事項に十分に注意してください。

- ・挿入口にゴミや異物、変形がないか確認する
- ・無理な挿入せず、やさしく丁寧に抜き差しをしてください
- ・斜め差しが無いかなど、完全に挿入されているか確認をしてください

お手入れは

お手入れは電源を切って行ってください。化学薬品などの清掃や接続部への掃除機や息を吹きかける等の清掃は絶対に行わないでください。

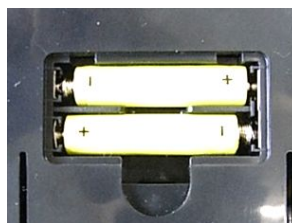
電池交換の方法

- ・バックアップ電池（別売）の取替え方法

単四電池を左図の通り挿入下さい。

極性には十分注意してください。

新旧の電池は混合して使用しないで下さい。



—本体背面部—

- ・リモコン電池（付属）の取替え方法

ボタン電池（CR2025）を左図の通り挿入ください。

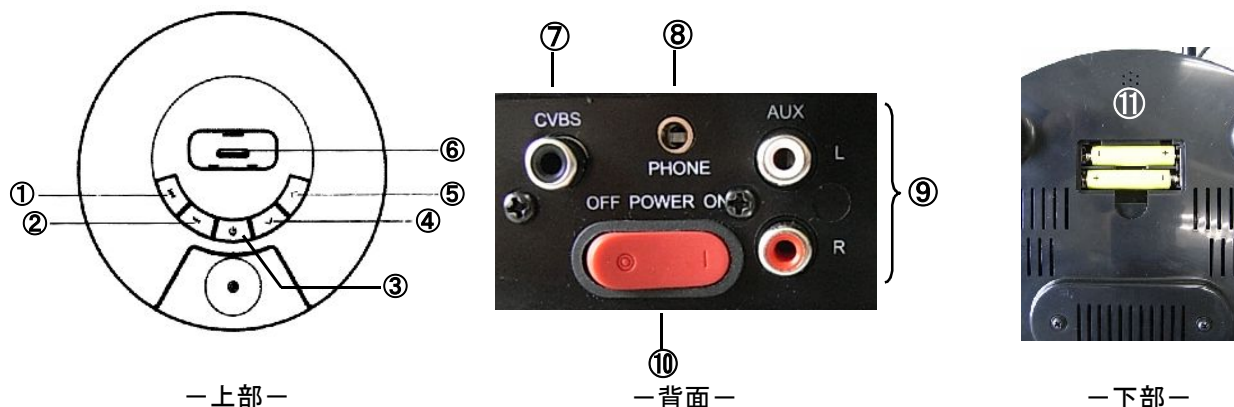
※の面がプラス側になります。

極性には十分注意してください。



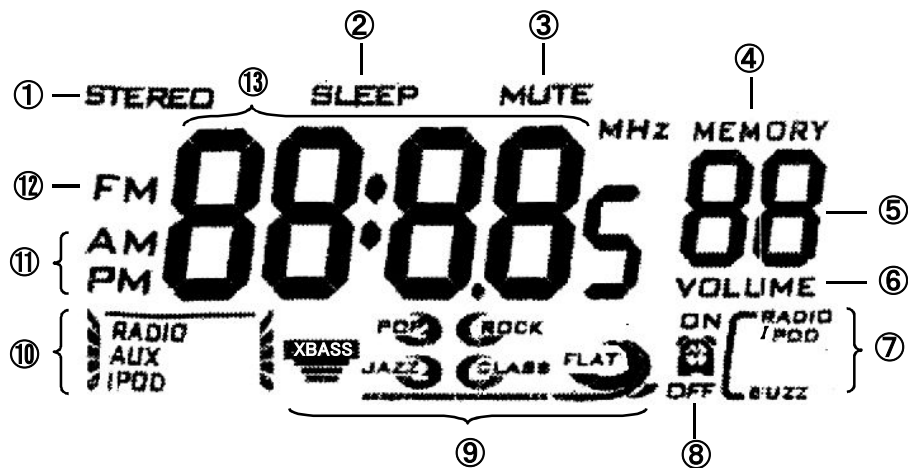
本機の説明について

本体各部の説明について



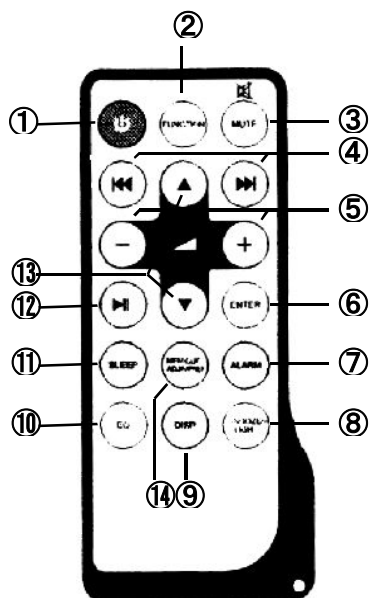
- ① SKIP(-)／TUNE(-)
- ② SKIP(+)／TUNE(+)
- ③ 再生状態とスタンバイ状態の切替(長押し)／設定モード(短押し)
再生中でのソース切替(iPod、ラジオ、外部入力)
- ④ 音量(-)
- ⑤ 音量(+)
- ⑥ iPod専用ドック
- ⑦ 別売の専用サブウーハー端子
- ⑧ 3.5mmフォンジャック
- ⑨ 外部入力端子(AUX)
- ⑩ メイン電源スイッチ
- ⑪ バックアップ電池の挿入箇所

表示部の説明について



- ① ステレオ再生表示
- ② スリープ表示
- ③ MUTE(消音)表示
- ④ FM放送の保存表示
- ⑤ FM放送の保存局数／音量レベル
- ⑥ 音量レベル表示
- ⑦ アラーム時の再生方法(ラジオ、iPod、ブザー)
- ⑧ アラームのON/OFF表示
- ⑨ イコライザー表示
- ⑩ 再生状態の表示／再生中のソース(ラジオ、外部入力、iPod)
- ⑪ 午前／午後表示
- ⑫ FM方法の表示
- ⑬ 時刻／アラーム時間／スリープ時間／FM放送周波数の表示

リモコンの説明について



- ①スタンバイ状態／再生状態の切替
- ②再生ソースの切替(ラジオ、外部入力、iPod)
- ③消音切替
- ④iPodの曲／FM周波数／時刻／スリープ時間の移動
- ⑤音量レベル設定
- ⑥iPodの操作(決定)
- ⑦アラームのオン／オフ切替
- ⑧スヌーズ／表示部ライトの切替
- ⑨各種設定情報の表示
- ⑩イコライザーの切替
- ⑪スリープのオン／オフ切替と時間設定
- ⑫iPodの再生／一次停止切替
- ⑬iPodの操作(上下移動)／FM放送局の保存先移動
- ⑭FM放送局の保存／iPodの操作(メニュー戻り)／時刻設定

※リモコンの使用注意

ボタン操作が鈍くなった場合は電池をお取替えください。
長時間ご使用にならない場合は、電池を外して保管ください。
高温になる箇所には置かないで下さい。
強い電波環境下や蛍光灯に本体とコントローラーを行ってください。
コントローラーの有効範囲は5m／30°です。

使用になる前に

設定された内容はメイン電源がオフされたり、停電になりますと消去されますので、本機裏に指定の電池を挿入ください。本体背面にあるメイン電源SWをONに、スタンバイ状態にしてください。
(スタンバイ状態と再生状態の違いは下図を参照下さい)



—スタンバイ状態—



—再生状態—

時刻を設定してください。(必要であればアラーム時間とスリープ時間を設定する)

●本体からの設定 (個別の設定にはリモコンをご使用ください)

⏻ を押すと、時刻設定に移る

◀◀/▶▶ を押して『時間』を設定し、⏻ を押す

◀◀/▶▶ を押して『分』を設定し、⏻ を押す

時刻設定が終了し、自動的にアラーム時間の設定に移る

◀◀/▶▶ を押して『時間』を設定し、⏻ を押す

◀◀/▶▶ を押して『分』を設定し、⏻ を押す

アラーム時間の設定が終わり、自動的にアラーム音の設定に移る

◀◀/▶▶ を押して好みの『アラーム音』を設定し、⏻ を押す

アラーム音の設定が終わり、自動的にアラームのオン／オフの設定に移る

◀◀/▶▶ を押して好みの『オン／オフ』を設定し、⏻ を押す

アラームのオン／オフの設定が終わり、自動的にスリープ時間の設定に移る

◀◀/▶▶ を押して『スリープ時間(90分～1分)』を設定し、⏻ を押す

スリープ時間の設定が終わり、自動的にスリープのオン(SLEEP表示が点灯)／オフ(SEELP表示が点滅)の設定に移る

◀◀/▶▶ を押して『スリープのオン／オフ』を設定し、⏻ を押す

—アドバイス—

スタンバイから ⏻ ボタンを押す度に上記設定モードに切り替わりますので通常はリモコン操作を推奨します。

●リモコンからの設定

時刻の設定

スタンバイ状態から、“CLK”ボタンを長押しする。時刻表示の『時間』が点滅する。

◀◀/▶▶ を押して『時間』を設定し、“CLK”ボタンを押す

◀◀/▶▶ を押して『分』を設定し、“CLK”ボタンを押す

時刻の設定が終わり、時刻表示が点滅が終了している事を確認

アラーム時間の設定

スタンバイ状態から、“ALARM”ボタンを長押しする。時刻表示の『時間』が点滅する。

◀◀/▶▶ を押して『時間』を設定し、“ALARM”ボタンを押す

◀◀/▶▶ を押して『分』を設定し、“ALARM”ボタンを押す

アラーム時間の設定が終わり、時刻表示が点滅が終了している事を確認

アラームのオン／オフの設定

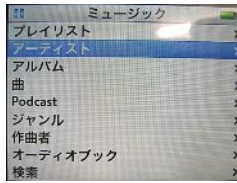
スタンバイ状態から、“ALARM”ボタンを押して、オン／オフを設定する

スリープ時間の設定 (90分～1分まで設定できます)

再生状態から、スリープボタンを押し続け、『90』が表示しますので好みのスリープ時間でボタンを離します。

iPodで音楽を聴く(基本的にはリモコンからの操作を推奨します)

スタンバイ状態から  ボタンを押す。
"FUNCTION"ボタンで表示部を"IPOD"に設定する
各ボタンからお好みの曲を選択する。(下図は操作の一例です)



リモコンの"▲/▼"で項目を選択して"ENTER"を押す



リモコン"▲/▼"で項目を選択して"ENTER"を押す
もし、前のページに戻る場合は"MENU"を押す



リモコン"▲/▼"で項目を選択して"ENTER"を押すと曲が再生されます。
また、"▶||"でも再生されます。再生中に押せば一次停止になります。
"MENU"を押せば、再生中でも前のページに戻ります。

"＋／－"でお好みの音量に調整してください。(真空管の特性上、15～25が最適の音質です)
"◀◀/▶▶"で曲をスキップしたり、前の曲に戻す事ができます。

FMラジオ放送を聴く(必ずアンテナを活用ください)

スタンバイ状態から  ボタンを押す。
"FUNCTION"ボタンで表示部を"RADIO"に設定する
"◀◀/▶▶"でお好みのFM放送周波数に設定します。
"＋／－"でお好みの音量に調整してください。(真空管の特性上、15～25が最適の音質です)

予めMEMORYにお好みのFM放送局を設定することで、手軽にFM放送局を選択できます。
MEMORYの設定チャンネル数は10局です。

再生状態で"FUNCTION"が"RADIO"になっている事を確認する。
お好みのFM放送局の周波数に合わせる。
"MEMORY"ボタンを長押しする
"▲/▼"を押して設定したいMEMORYのチャンネル(1～10)に合わせる。
(注意)既に設定したいチャンネルであっても必ず"▲/▼"を押してチャンネルを変化させてください。
例 既に目的のチャンネル2であった。"▲"を押して3にして"▼"を押して再び2に戻す。
"MEMORY"ボタンを押して設定完了です。
MEMORYのチャンネルは"▲/▼"で選択できます。

外部入力(AUX)から音楽を聴く

スタンバイ状態から  ボタンを押す。
"FUNCTION"ボタンで表示部を"AUX"に設定する
音量調整以外は本機からは設定できません。接続されている外部機器で設定ください。

イコライザーを使用する(リモコンからの操作のみになります)

再生状態及び、曲の再生中にEQボタンを押しことで
表示部がFLAT→CASSIC→ROCK→POP→JAZZ→XBASSに切り替わります。

アラームを使用する

スタンバイ状態から設定された時間になりますとIPOD、RADIO、BUZZ(ブザー)の選択されたアラーム音が再生されます。再生状態からは起動されません。

アラーム音をiPodにする

予め、アラーム時間とアラーム音を”IPOD”を設定し、”ALARM”ボタンを押してオンにします。
iPodをお好みの曲を選択し、一時停止状態にします。
スタンバイ状態にしてすれば、アラームの設定は完了です。
アラーム起動時に、iPodの一時停止された曲が再生されます。

アラーム音をRUDIOにする

予め、アラーム時間とアラーム音を”RUDIO”を設定し、”ALARM”ボタンを押してオンにします。
お好みのFM放送局に選択し、スタンバイ状態すればアラームの設定は完了です。

アラーム音をBUZZにする

予め、アラーム時間とアラーム音を”BUZZ”に設定し、”ALARM”ボタンを押してオンにします。
スタンバイ状態すればアラームの設定は完了です。

停止方法について

停止するには次の方法があります。

- ・  を押して、スタンバイ状態にする。
- ・アラーム音がiPodであれば  を押して一時停止する。
- ・”SNOOZE”ボタンを押す。停止から9分後に再起動します。
完全に停止される場合は、スタンバイ状態で停止させてください。

スリープを使用する

予め、本機の操作でスリープ時間を設定します。再生状態からリモコンでもスリープ時間を設定できます。
その場合は”SLEEP”ボタンを長押しして、お好みの時間でボタンを放してください。
再生状態で、”SLEEP”ボタンを押してオン(SLEEP点灯)を確認してください。
解除する場合は、再生状態で”SLEEP”ボタンを押してオフ(SLEEP消灯)を確認してください。
再生状態から、設定されたスリープ時間になりますとスタンバイ状態になります。
iPodはスタンバイ状態では自動的に充電状態になります。

本機をスタンバイ状態にする。

本機からは、  を長押しする。
リモコンからは  を押す。
スタンバイ状態ではiPodは充電状態になります。

接続されたiPodについて

接続されたiPodはスタンバイ状態では一時停止になり、充電状態になります。
大切なiPod本体を守るため、次の事に十分に注意してください。

- ・スタンバイ状態での長時間の接続(充電)はしないでください。
- ・本機のメイン電源スイッチを切った状態では必ず、iPod本体を抜いてください。
- ・本機に接続された状態でiPod本体を直接操作しないでください。

故障かな？！

目的の音が出ない！	iPodや外部入力端子が正しく挿入されていますか？
	再生ソースは正しく設定されていますか？
	音量は適切ですか？
	MUTEはオフになっていませんか？
ラジオが受信できない！	FMラジオ放送受信エリアですか？
	アンテナを接続してますか？
ラジオの雑音がある？！	電波を出す機器の近くに本機がありませんか？
	アンテナの向きは適切ですか？
音質が悪い？！	強い電波環境下で使用されていませんか？
	イコライザーのモードは適切ですか？
	音量は小さくありませんか？
	外部入力(AUX)の信号は正しいですか？
リモコン操作ができない！	電池が劣化してませんか？
	本体受信部に障害物がありませんか？

※真空管はレコードの音質に近い、温かみのある迫力なサウンドが特徴です。
真空管の特性上、デジタルアンプのような低ノイズでクリアーな音質ではありません。

製品仕様

電源	AC100 50Hz
寸法	直径 252mm 高さ 79mm
重量	2.04kg
入力信号	iPod／外部入力(AUX)
入力端子	iPod専用ユニバーサル形状ドック※、RCA音声端子(AUX)
出力端子	3.5mmジャック、サブウーハー端子(8Ω)
FMチューナ	76.0～90.0MHz(50kHzステップ)、アンテナ端子(75Ω不平衡型)
イコライザー	6種類プリセット(フラット/クラシック/ロック/ポップ/ジャズ/XBASS)
その他機能	時刻表示、アラーム、スリープ
スピーカー	L/R 8Ω
最大出力	最大出力 18W(9W+9W)
再生周波数帯域	L/R 70Hz～20KHz
S/N比	>75dB

※iPod mini、iPod shuffle、一部の旧世代iPodは専用ドックが利用できませんが、外部入力端子(AUX)から再生が可能です。

保証について

本書は、本書記載内容で、無償修理をさせていただくことをお約束するものです。ただしこの保証の権利は、ご購入頂いたお客様本人に限られ、他の第三者に譲渡する事は認められません。次の場合は保証期間内でも保証は無効となります。

- ・本書のご提示が無い場合
- ・本書のご提示が無い場合記入漏れ、字句を書き換えられた場合
- ・修理のご依頼先と当社が管理しているお客様管理No. の内容に相違がある場合
- ・使用上の誤り、改造、修理による故障や損傷
- ・ご使用後のキズ、変色、汚れ、および保管上の不備による損傷
- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、および天災地変による故障および損傷
- ・他機器(iPodなど)の接続による故障および損害(他機器も含む)

なお実際に修理が発生された場合は、恐れ入りますが下記の問い合わせ先までご連絡ください。修理のお手続きをご説明をさせていただきます。また保証期間中に関わらず当社までの修理品の送料は申し訳ありませんが、お客様自身でご負担くださいようお願い申し上げます。当社への直接持ち込みはご遠慮させていただきます。

保 証 書	
製品名	Mercury Hi-Fi真空管iPodステレオシステム
型番	MA-601
保証期間	30日
販売元	
問合せ先	customer@i-mercury.asia
お客様管理No.	
お買い上げ日	
お客様ご住所	
お客様ご芳名	(フリガナ)